

採択拠点の拠点形成概要及び採択理由

【分野名：医学系】

大 学 名	藤田保健衛生大学	整理番号	F - 1
拠点のプログラム名称	超低侵襲標的化診断治療開発センター		
中核となる専攻等名	医学研究科内科系専攻		
事業推進担当者	(リダー) 浅野 喜造 外24名		
<p>(拠点形成の概要)</p> <p>臨床医学における診断・治療法を特異的かつ低侵襲とするため、分子・細胞・組織レベルでの標的化診断・治療技術を創出・実用化することを目標とする。この目標を実現するため、建学時からの「独創一理」の理念に基づき大学・学長は教育研究の実施評価システムを整備し、780㎡のスペースに超低侵襲標的化診断治療開発センターを設立する。当センターでは、これまで本学総合医科学研究所で開発してきた臨床応用可能な技術シーズ、すなわち人工抗体、tissue targeting、人工染色体、ゲノム解析技術と、日本有数規模の大学病院を来診する患者のニーズと臨床情報のマッチングを行うことを基本として、体系的に評価・吟味しつつ共同研究を押し進める。さらに国際的評価に耐えうる臨床研究を成し遂げることのできるリサーチマインドを持った後継研究者・医学者を育てる。本センターを拠点として整備することにより新しい診断・治療法が確立され世界最先端の医療として社会に還元できる。</p>			
<p>(採択理由)</p> <p>人工抗体あるいはマイクログリアのベクターなど総合医科学研究所で独自に開発してきた技術を臨床応用に向けて新たな発展を促す試みである。提案された技術は世界的にも極めて優れたユニークなものであり、拠点形成のポテンシャルは高く評価できる。</p>			